



南中学校だより

【学校教育目標】心を磨き 本気で学び たくましく

令和7年11月5日(水)
東松山市立南中学校長
栗田 秀人

第8号

【目指す学校像】生徒一人一人が生き生きと輝き存分に躍動するとともに、家庭・地域と信頼の絆で結ばれる学校

運・鈍・根

10月6日(月)からの週に、今年のノーベル賞受賞者が発表されました。ノーベル賞というと本校卒業生の梶田隆章先生は2015年に物理学賞を受賞されていますが、今年の日本人受賞者として、生理学・医学賞に大阪大学栄誉教授の坂口志文(さかぐちしもん)先生、化学賞に京都大学副学長の北川進(きたがわすすむ)先生の2名が選ばれました。坂口先生は免疫反応を抑える「制御性T細胞」を発見したこと、北川先生は「金属有機構造体(Metal-Organic Frameworks、MOF)の創出」で受賞されました。この受賞以来、暫くの間お二人がニュース等で取り上げられ、研究の内容に加えてお二人の人となりなども紹介されていました。その中の一つに、お二人がよく学生に語っていた言葉として話題に上がっていたのが表題の「運・鈍・根」でした。お二人は同じ言葉をよく使っていらっしゃったのだとか。

ところで「運・鈍・根(うんどんこん)」とは、物事を成功させるために必要な3つの要素、「運」「鈍」「根」を指す言葉で、それぞれの意味は次の通りということです。

運(うん)：幸運に巡り合うこと、巡り合わせ、予想外の吉凶禍福の出来事。出会いや人との縁を生かせるかどうかも含まれます。

鈍(どん)：鈍いくらいの粘り強さ、辛抱強さ、ねばり強く続けて止まないこと。頭が良すぎて才走った人ではなく、鈍感なほど根気強く物事に取り組む姿勢や、何物にも動搖しない確固とした信念を持つことを指します。

根(こん)：根気があること、根気強さ、根性、物事に耐える気力です。

この「運・鈍・根」もう少し掘り下げてみると、いろいろな考え方方が出てきます。「運」については、単なる天明ではなく私たちの受け止め方や修養によって変化し、創造できるもので、明るく前向きな姿勢でいることが運を開くことにも繋がるそうです。「鈍」を活かすには、困難なことに直面しても、すぐにあきらめずに粘り強く取り組む力が重要です。たとえ才能に恵まれなかったとしても、「バカになって」物事に没頭してみることが新たな発見や解決策につながるそうです。そして「根」、これはやはり、目標達成に向けた強い精神力と忍耐力です。これは、個人の成長だけでなく、組織の成長にも繋がるそうです。

「運・鈍・根」の考え方は、これから自分の未来を切り開こうと模索している中学生にとって大切な考え方です。私は特に「運」の考え方について共感しています。「運」とは、ただ巡り合うのを待つのではない。自分自身の修養(学問を修め、徳性を養い、人格を高めるために努力すること)によって変化するもの、ということです。「果報は寝て待て」ということわざもありますが、この意味も、幸運は人間の力ではどうにもできないため、焦らずに時期を待つのが良い。ただ待つだけでなく、努力を尽くした上で良い結果を焦らず待つというニュアンスが含まれるそうです。「根」は才能よりも根気強さや信念が大切という考え方ですね。

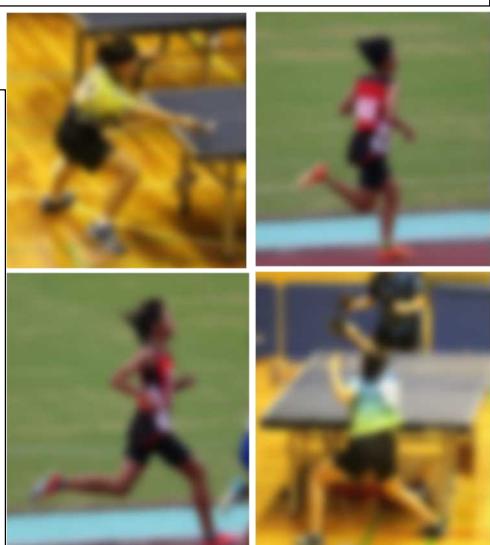
3年生は10月末から進路にかかる三者面談を始めています。彼らにとって今の時期は、まさに「運・鈍・根」の期間です。3年生に限らず中学生という時期は、将来について考えれば考えるほど不安になってしまう頃ではありますが、来るべき時に備えて「運・鈍・根」を意識して過ごしてほしいですし、周りを取り巻く大人たちも、結果に焦ることなく「運・鈍・根」の思いで子供たちを見守っていただけたら幸いです。

新人体育大会

(10月25日(土)：鶴ヶ島運動公園他)

比企地区予選を勝ち上がり、見事新人戦県大会に出場権を得た部や、個人で出場権を得た生徒が各大会で躍動しています。陸上部(熊谷スポーツ文化公園陸上競技場：10月8日(水)9日(木))では、男子走り幅跳びで○○さんが5位(6m06cm)、女子1500mでは、○○さんが2位(4'45"90)、○○さんが8位(4'49"71)に入賞しました。同じ学校から3名の入賞者がすることは大変稀なことです。(女子1500mでは競技場の電光掲示板に南中の名前が2人掲示されました。)他の種目に出場した生徒も、自己記録を更新できた生徒が出るなど充実した結果となりました。ソフトボール部は10月25日(土)、雨の降りしきる鶴ヶ島運動公園で新座二中と対戦、10対11で惜しくも敗れてしまいましたが、サンドレスにもつれ込む大熱戦を展開していました。卓球(上尾運動公園体育館：10月26日(日))に男女個人戦が行われ、女子シングルスに登場した○○さんが3位、男子シングルスの○○さんがベスト32まで勝ち上りました。

いずれの大会でも、誰もが素晴らしいパフォーマンスを發揮できていました。日頃の積み重ねの成果です。(県大会は11月に続きます。)



合唱祭

(10月24日(金)：東松山市民文化センター ホール)

今年は体育館で空調工事を行っていることから、東松山市民文化センターでの開催となりました。順位こそついてしまいましたが、これまでの練習の成果に加え音響の整ったホールでの開催となり、今年も例年と同じく、どのクラスも素晴らしい発表ができました。

さて、毎年、南中の合唱祭は大変熱のこもった取り組みになります。約2か月前から学級での練習が始まり、途中、中間テストや新人戦を挟みながら徐々に曲が仕上がっていきます。合唱祭の校長挨拶でも話したのですが、私は合唱祭までの練習期間が大好きです。校長室にいると、音楽室などで歌う声がとてもよく聴こえています。はじめはばらばらだった声が徐々に揃いだし、合唱祭直前には素晴らしいハーモニーを響かせるようになります。その経過の中で、きっと生徒の気持ちが徐々に同じ方向を向いていくのでしょう。音楽自体への興味・関心はそれぞれに違います。歌うことに対する得手・不得手があったり、別のことに対する興味があったりと、それぞれの生徒が違う思いをもって練習期間が始まります。やがて目標が定まったり曲を覚えてたりすると思いが段々と一つになり（同じ方向を向くようになります）。前日までに仕上がっていきます。多少の違いはある、思いを重ねることで進歩していく様子を聴いていることが、この上ない楽しみなのです。今年もそんな変わっていく様子を“聴く”ことができました。クラスがまとまる過程で様々なことがあったと思います。ですが最後は、それぞれの人の、自分と違う様々な個性が同じ目標の達成に向けてまとまっていたこと、自分と違う様々な個性を認め合うことができたということなのでしょう。賞を取ることも大切ですが、君たちの、そんな心の成長が最大の成果です。この取り組みの成果を、今後の学校生活に活かしてくれることを期待します。

各学年の入賞したクラスのなかから西部北地区音楽会や市内音楽会に学校代表として出場するクラスがあります。もう少しの間、気持ちを一つにした取り組みが続きます。

(合唱祭の開催にあたり、特に移動面でご不便をおかけいたしました。PTA役員様はじめ、交通整理にご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。)

	最優秀賞	優秀賞	優良賞
1年	3組「Tomorrow」	1組「旅立ちの時～Asian Dream Song～」	4組「明日へ」
2年	5組「ほらね、」	4組「HEIWAの鐘」	3組「輝くために」
3年	3組「僕らはいいものだから」	4組「友～旅立ちの時～」	2組「結・ゆい・」



比企地区中学校駅伝競走大会

今年は男女各3チームが出場しました。結果は右のとおりです。女子Aチームの皆さん、おめでとうございます。県大会(11月8日(土)：熊谷スポーツ文化公園)での活躍を期待しています。

さて、駅伝に出場するということは学年や部活動の枠を超えて、学校代表として出場するということです。3年生はすでに部活動を引退し受験勉強に取り組んでいる頃でしょう。そんな中で、男女各3チームずつ、計40名を超える生徒がこの活動に参加してくれました。選手選考や練習は7月から始まり、夏季休業中も練習を継続していました。夏の暑さもあいまって苦しい練習だったことが想像されますが、そんな中で南中の看板を背負ってくれた代表生徒を大変誇らしく感じています。

(10月16日(木)：嵐山町B&G海洋センター周回コース)

女子	順位
Aチーム	1位
Bチーム	6位
Cチーム	17位

男子	順位
Aチーム	8位
Bチーム	16位
Cチーム	26位



新生徒会本部役員紹介

令和7年度後期から令和8年度にかけての生徒会本部役員が選出されました。南中の思いを活かせる存在になってほしいと考えます。

生徒会長
副会長
書記
会計
監事

吹奏楽部 交通安全運動コンサート出演

秋の全国交通安全運動ふれあいコンサートに吹奏楽部が出演しました。1・2年生主体の初めての発表で緊張した顔も見られましたが、観客の皆さんから大きな歓声と拍手をいただきました。

演奏前、部長の○○さんは、ふれあい運動の開始式で警察署長さんを前に「ヘルメット着用宣言」を読み上げました。



(9月21日(日)：
東松山市民活動センター)

11・12月の予定	
1	土
3	月
4	火
5	水
8	土
11	火
12	水
13	木
14	金
23	日
24	月
25	火
28	金
5	金
7	日
10	水
19	金
22	月
23	火
24	水
25	木